



安全に野球を
プレイできる環境を

小林 憲人 議員

問 荒川運動公園野球場のピッチャーマウンド付近から石が出てくる。土の補充を。

答 公園内の小石が表面に出ているグラウンドに対し、優先的に土の補充を行うなど、利用者が安全に利用できるような整備を実施していく。



ピッチャーマウンド付近からこんな石が

口腔機能の向上で
介護予防を

問 歯の健康フェアで口腔機能の向上及び評価を行っている。

答 今後の実施方法について、どのような形で行うことがより効果があるのかを含め、検討していく。

ダブルチェックが
できる職員体制を

問 ガバメントクラウドの導入に向けて、専門職員の配置体制は。

答 職員に専門的な知識や技術がこれまで以上に必要になると考えられている。今後の課題と認識しているが、まずはシステムの移行を目指し、対応を進める。

砂利道私道の整備を

問 3年、5年など期間限定で補助制度の創設を。
答 今後、どういう形をとれば、少しでも改善できるのか検討を進めていきたい。

ギカいの動き

生活・福祉常任委員会 議会報告会

文京学院大学で意見交換会

11月7日、生活・福祉常任委員会では委員長による定例会報告に続き、子どもの貧困支援とひきこもり支援をテーマに福祉分野を専攻している文京学院大学生13名と議員で意見交換を行いました。市議会と文京学院大学は連携協定を結んでいます。



● 学生の意見 (抜粋)

ひきこもり支援について

- ・当事者のニーズに合った外に出るきっかけとなるような場が必要。
- ・社会的な問題となっているため、市民に対する学習機会の提供を。
- ・SNSなど多様な媒体の活用による相談方法の拡充が必要。

子どもの貧困支援について

- ・気軽に立ち寄れる場所、相談できる場所が必要。
- ・子ども自身と子育てにお金がなくとも困らない社会にしたい。
- ・子どもの貧困について学び、偏見を無くすことが大事だと思う。

終了後の学生アンケートより

- ・意見交換を通して視野が広がった。
- ・直接議員と意見交換ができ自身の意見を発信できたことは貴重な経験だと感じた。
- ・意見を言いやすいように、議員からプラスの言葉かけや共感が多かったので話しやすかった。

12月6日、生活・福祉常任委員会では今回の議会報告会の振り返りを行い、学生の意見を生かしていくことや今後の議会報告会の開催方法などが話し合われました。